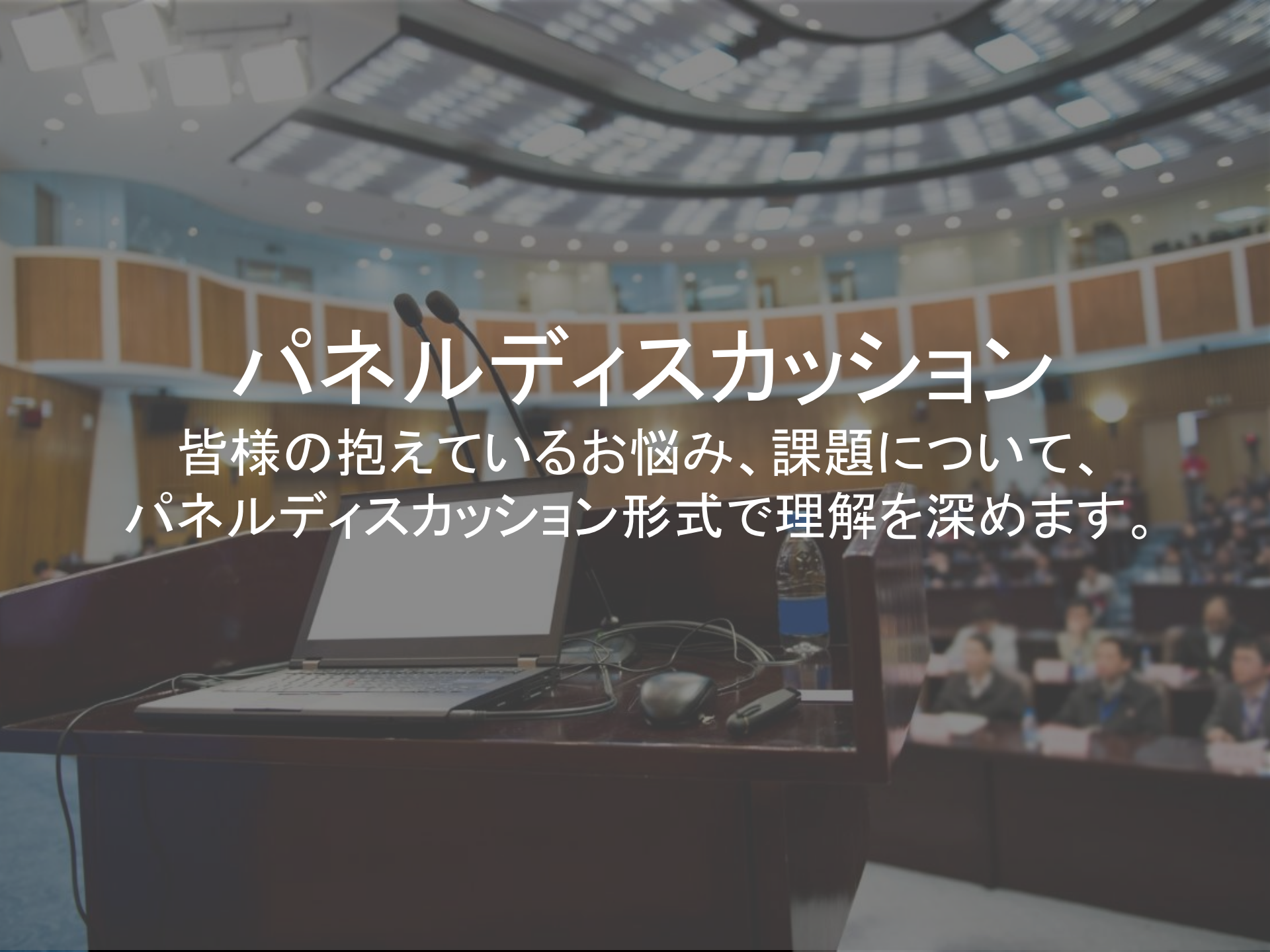
# Web.JaSST

## ～ウェブ系QAがみんなのお悩みに全力で提案を返す会～

Web Service QA Meeting

# Web Service QA Meeting のコンセプト



# パネルディスカッション

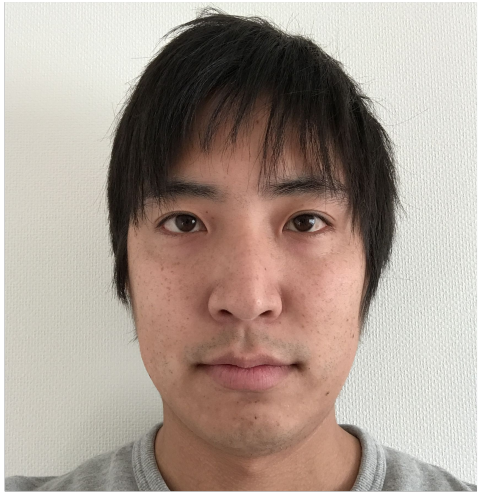
皆様の抱えているお悩み、課題について、
パネルディスカッション形式で理解を深めます。

# 登壇者紹介

# モデレータ:

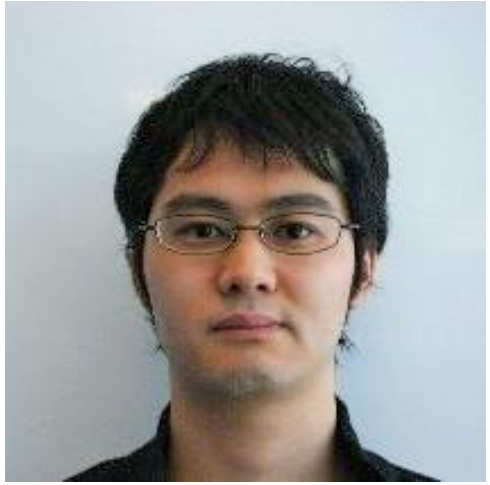
- 鈴木 里惇
  - LINE株式会社

LINE



# パネリスト チームA:

- 柿崎 憲
  - 株式会社サイバード



- 鶴岡 洋子
  - ユニファ株式会社

# パネリスト チームB:

- 山本 久仁朗
  - 株式会社アカツキ

- 米山 允章
  - 株式会社メルカリ

# パネリスト チームC:

- 山本 健
  - 株式会社ミクシィ

mixi

- 川﨑 久美
  - 株式会社ミクシィ

mixi

# パネリスト チームD:

- 浅黄 友隆
  - 株式会社ヒューマンクレスト

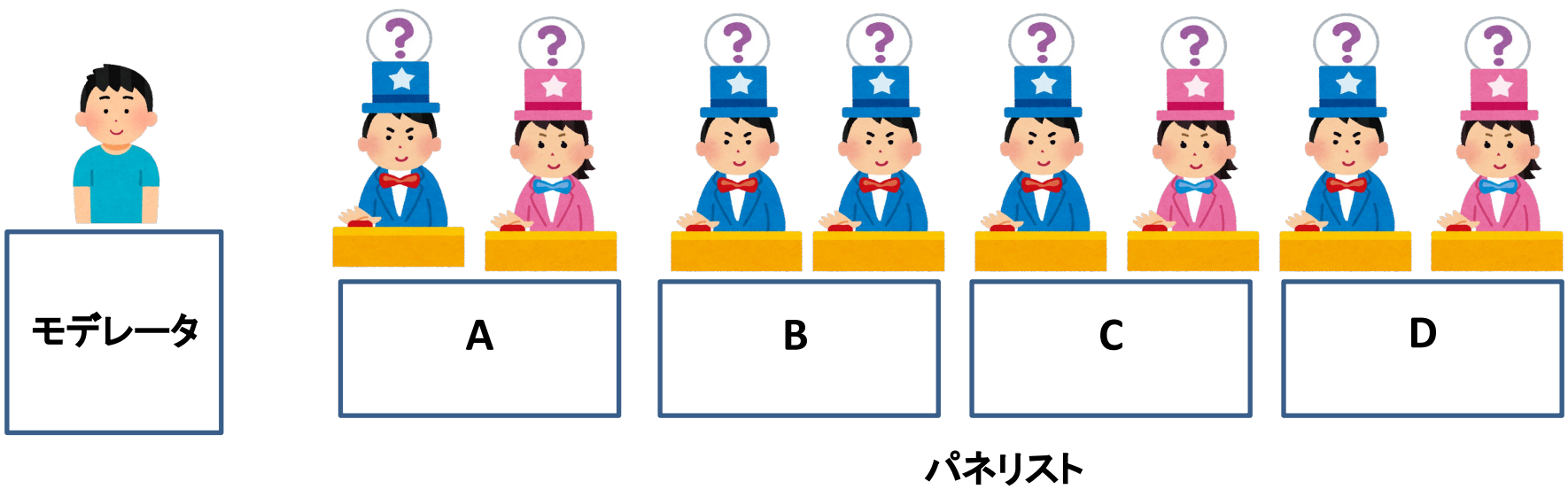
Human Crest

- 山口 真央
  - 株式会社ヒューマンクレスト

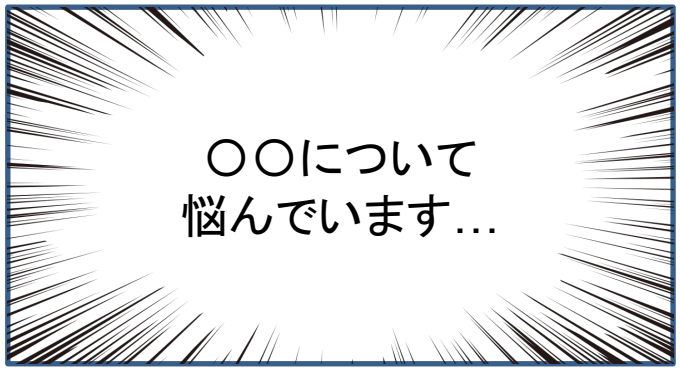
Human Crest

# パネルディスカッションの進め方

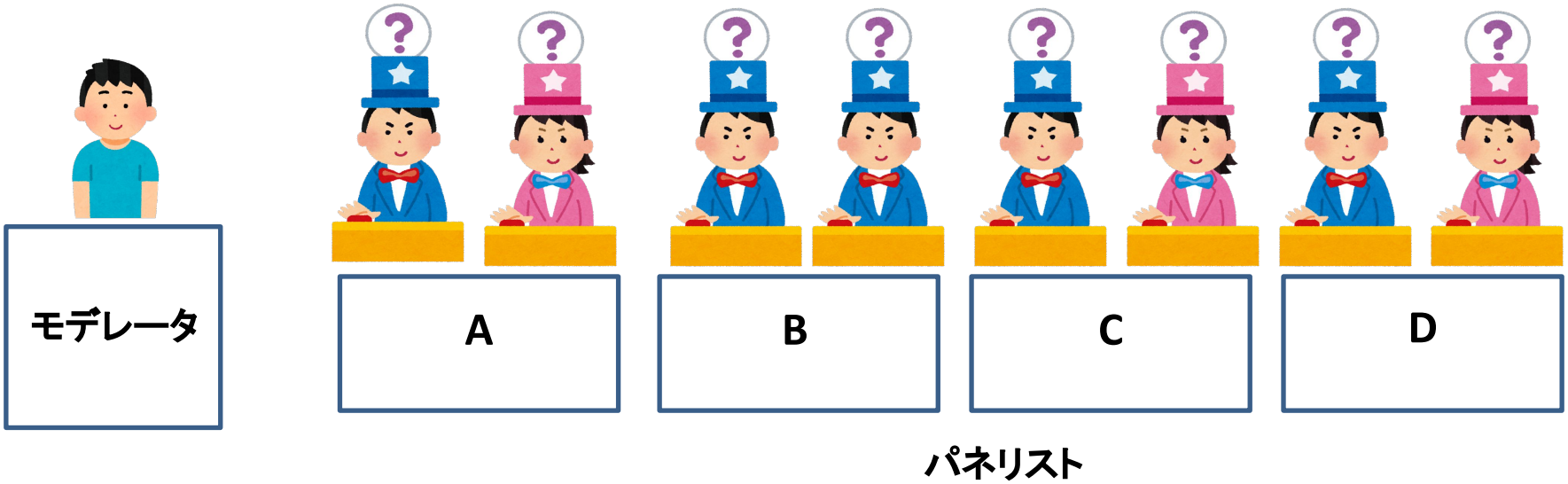
# パネルディスカッションの進め方



# パネルディスカッションの進め方



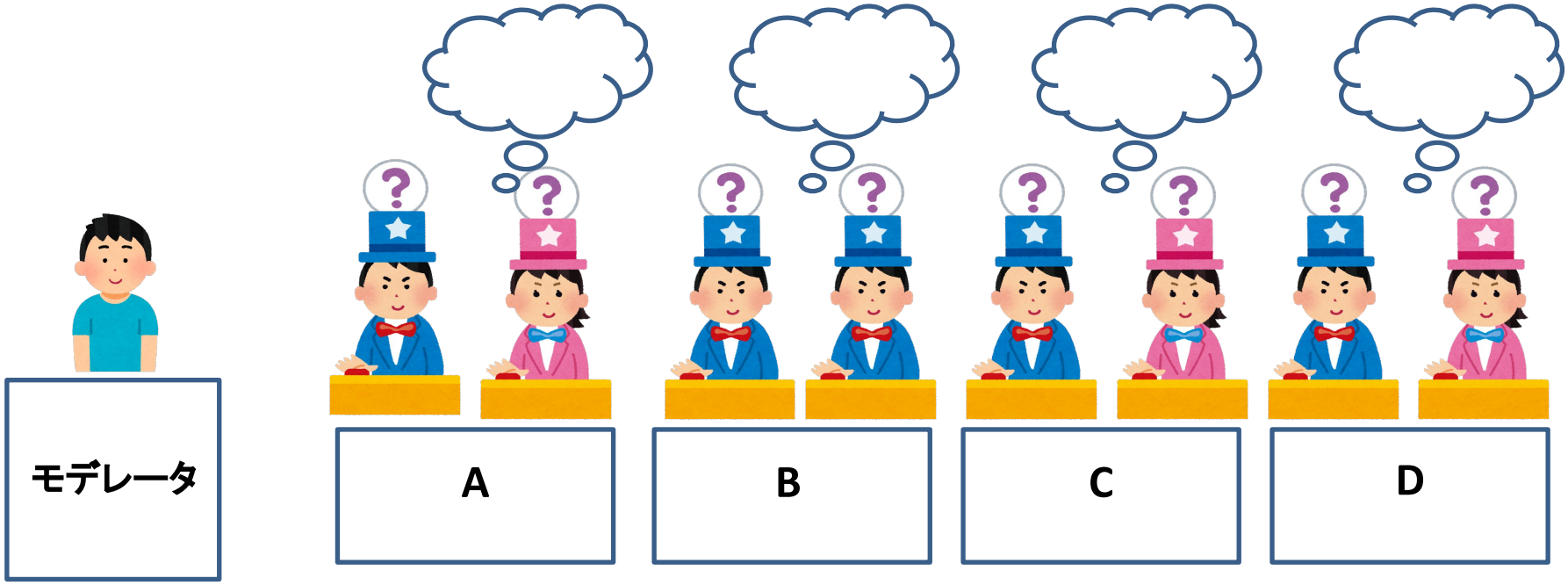

## 1. お題発表



# パネルディスカッションの進め方

○○について
悩んでいます…

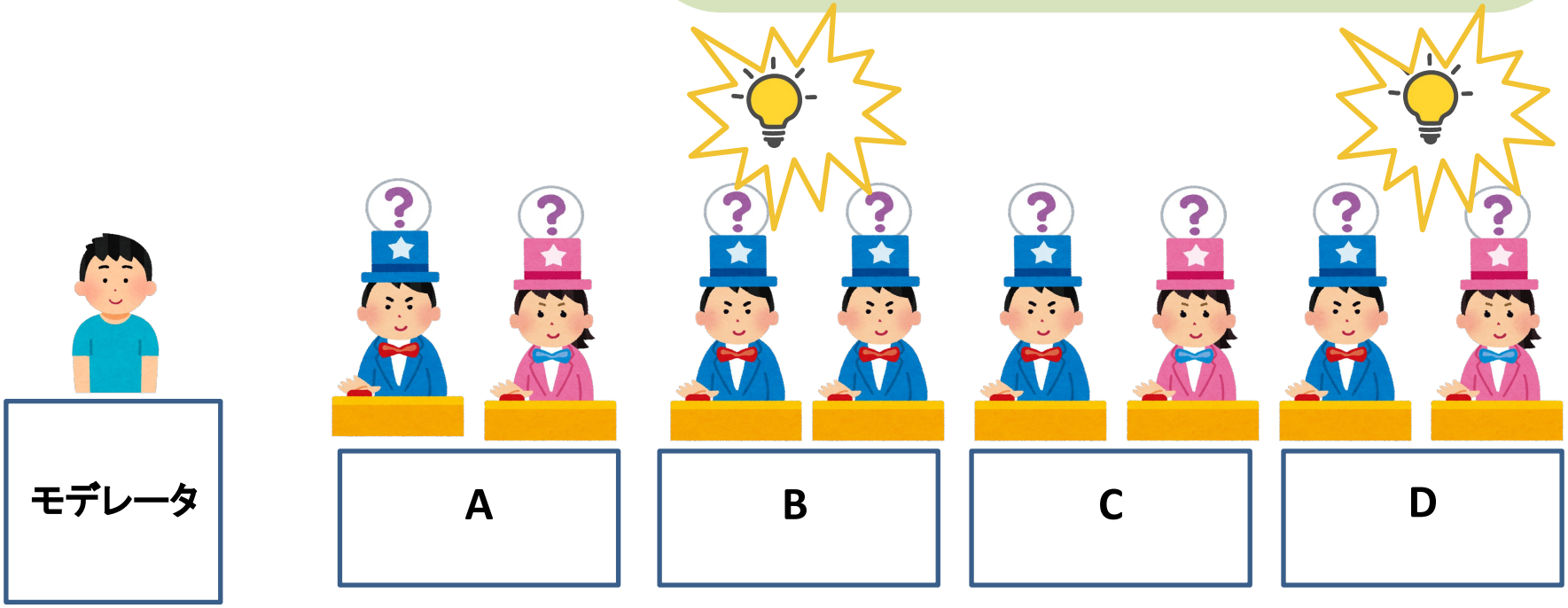
## 2. シンキングタイム



# パネルディスカッションの進め方

〇〇について
悩んでいます…

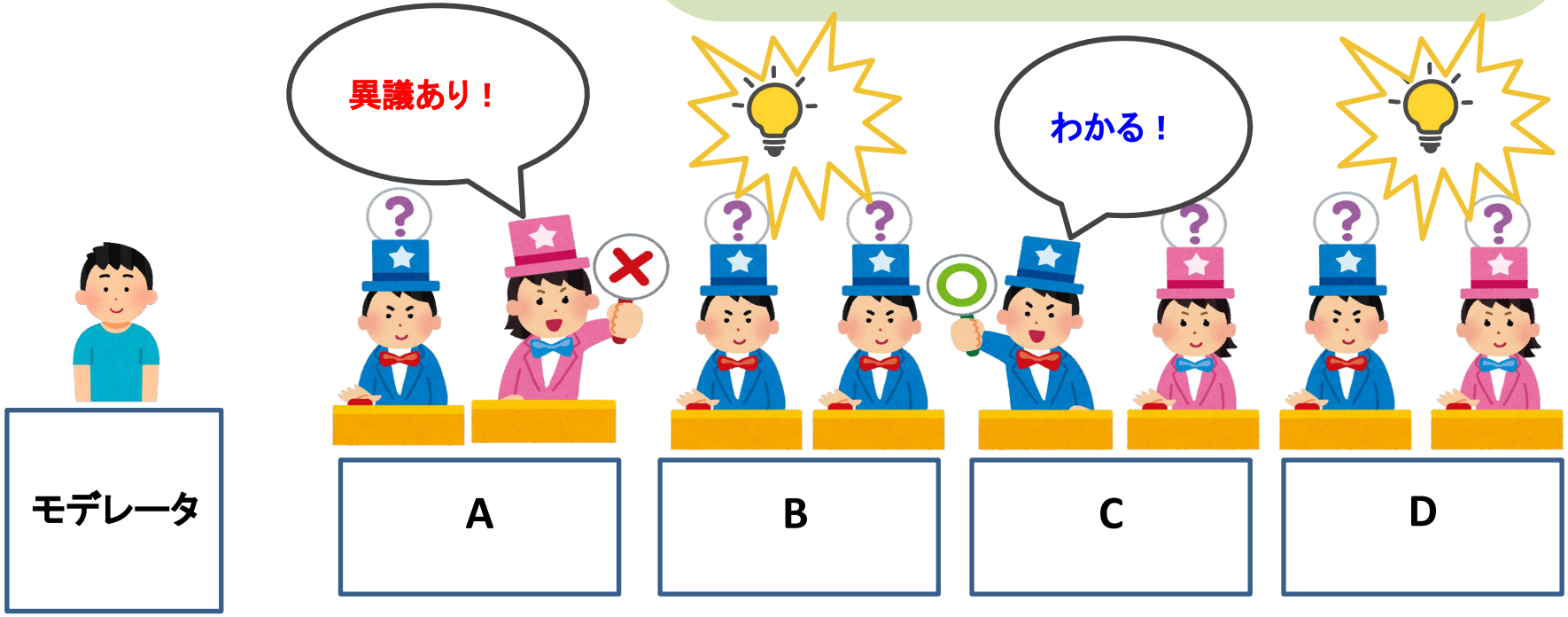
3. 回答を書けたチーム
から**早押し**で発表



# パネルディスカッションの進め方

○○について
悩んでいます…

4. 他チームの回答に**同意**、**異論**がある場合は、**GOOD :)** ,**BAD :(** のフリップを挙げてください



# 出題するお題

# 事前に実行委員ブログにて募集しました。

テス太郎
@Tesutaro_JaSST
フォロー中

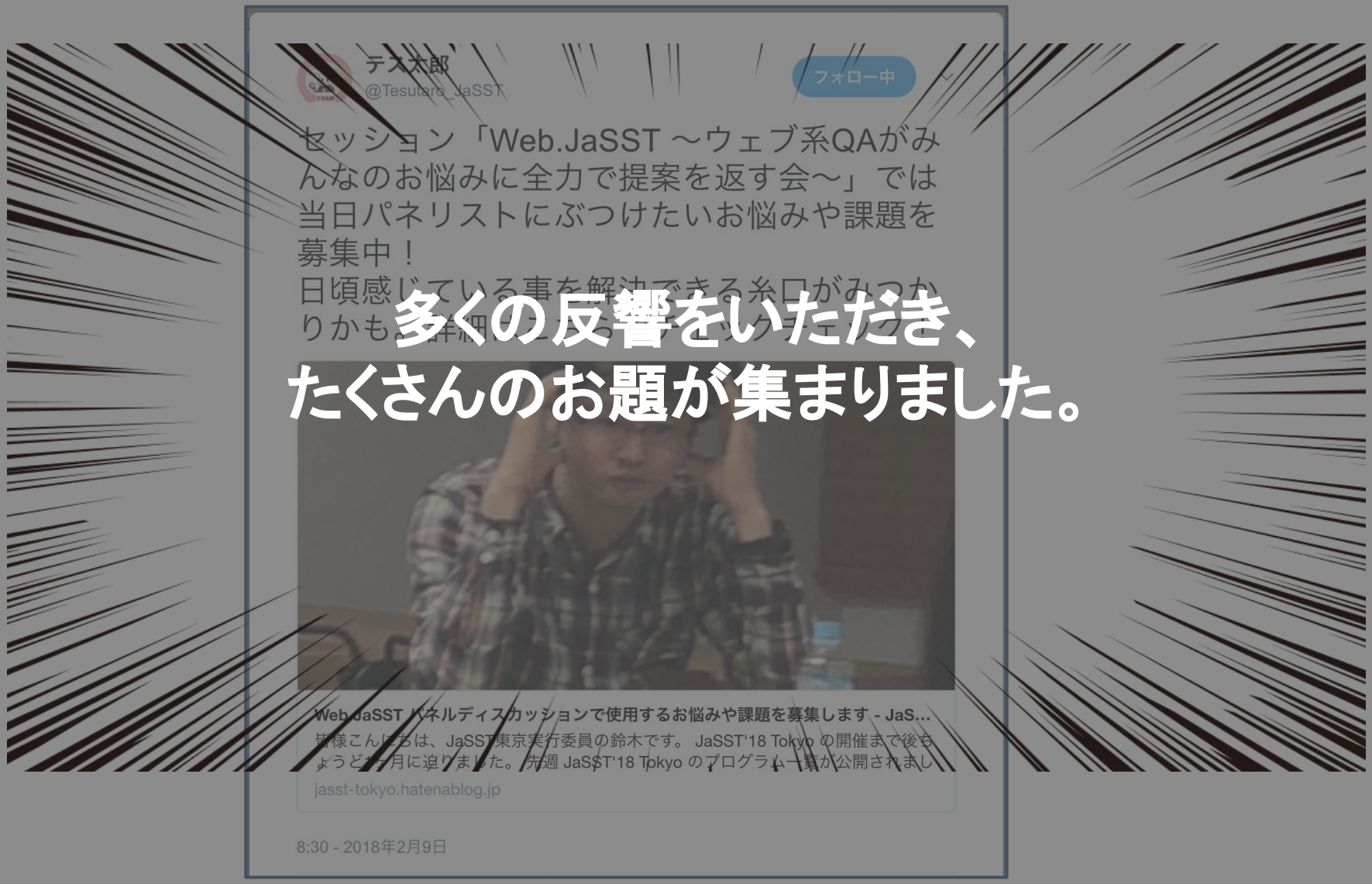
セッション「Web.JaSST ～ウェブ系QAがみんなのお悩みに全力で提案を返す会～」では当日パネリストにぶつけたいお悩みや課題を募集中！
日頃感じている事を解決できる糸口がみつかりかも。詳細はこちらでチェックチェック！

**Web.JaSST パネルディスカッションで使用するお悩みや課題を募集します - JaS...**
皆様こんにちは、JaSST東京実行委員の鈴木です。 JaSST'18 Tokyo の開催まで後ちょうど1ヶ月に迫りました。 先週 JaSST'18 Tokyo のプログラム一覧が公開されまし
jasst-tokyo.hatenablog.jp

8:30 - 2018年2月9日

https://twitter.com/Tesutaro_JaSST/status/961744047676076032

# 事前に実行委員ブログにて募集しました。




**多くの反響をいただき、**
**たくさんのお題が集まりました。**

https://twitter.com/Tesutaro_JaSST/status/961744047676076032

パネルディスカッションは

**二部構成**です

# 第一部（前半）

事前に募集したお題の中から、
セッションオーナーの独断で厳選したものを出題します。

# 第二部（後半）

選考から漏れたお題から、来場者の方に**リアルタイム**で投票を受け付け、投票数が多いものを出題します。

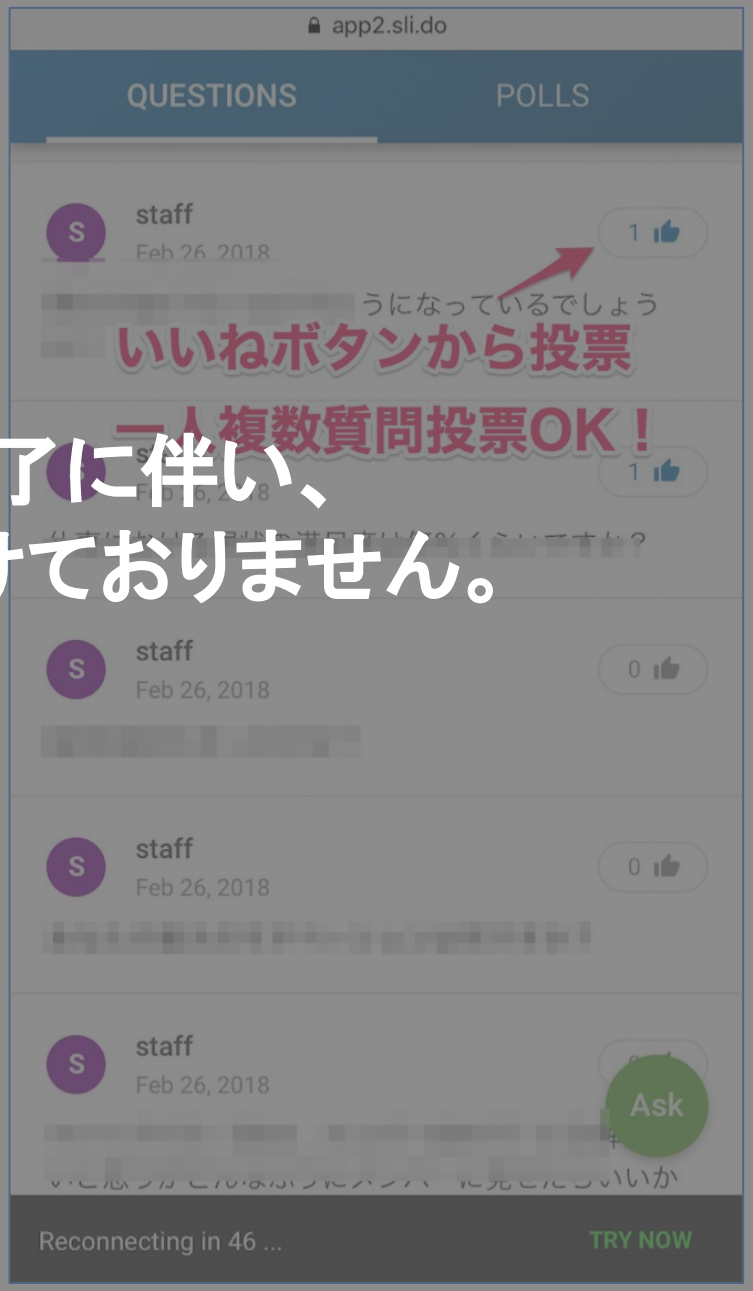
⇒ 更にお題の**追加**も**リアルタイム**で受け付けます

# 受け付け方法

https://app2.sli.do/event/qfmz5ruh/ask

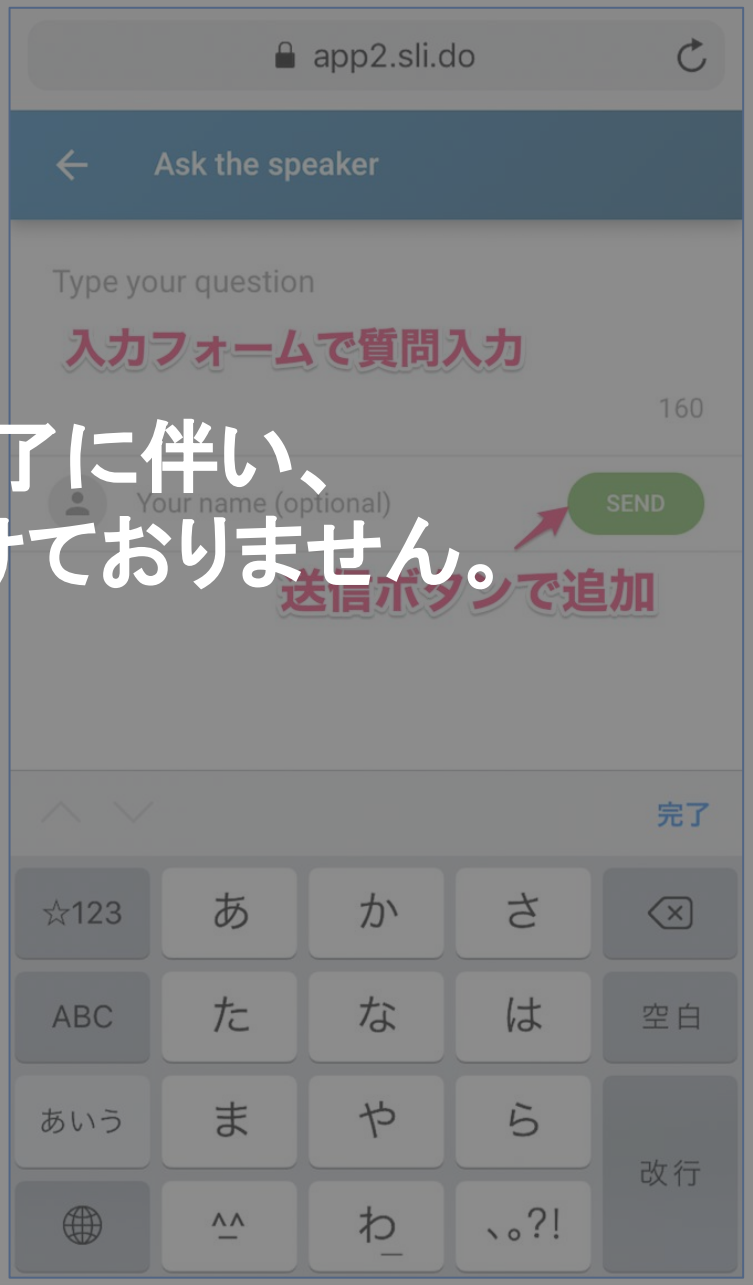
イベント終了に伴い、
現在は受け付けておりません。

# 投票




イベント終了に伴い、
現在は受け付けておりません。

# 追加




イベント終了に伴い、
現在は受け付けておりません。

# 第一部

# 1問目

テスト観点を洗い出すとき、システムの細かな仕様に気を取られ、いわゆる「木を見て森を見ず」状態になりがちです。

**網羅的にテスト観点を洗い出す際工夫さていることはありますか。**

また、仕様書以外から観点を導き出すために何か工夫されていることはありますか。

## ＜Q1：網羅的にテスト観点を洗い出すには？＞

**【A】柿崎・鶴岡**

・ロジカルシンキング
（観点の大きいところから詳細化する）
・テンプレート
（漏れがちな観点をリスト化）

**【B】山本(久)・米山**

・マスターテストプランを用意する
・重要度の高い案件をウォッチする
・変更履歴を追いかけながらテスト実施

**【C】山本(健)・川﨑 🔵**

・業務知識を身につける
・お金を出す人の顔を見る

**【D】浅黄・山口**

・レビュー
（仕様書やテストケースをレビューして認識合わせ）
・コミュニケーション

# 2問目

**バグ分析のメトリクスはどのようなものを取得していますか？**

バグ分析はどのようなことをしていますか？（そもそもやっていますか）

## ＜ Q2：バグ分析のメトリクスどうしてる？ ＞

**【A】柿崎・鶴岡 🔴**

・障害情報
（障害の出どころや改善策に生かす）
・信頼度成長曲線
（バグを記録し分析すれば成長曲線が作れる）

**【B】山本(久)・米山**

・バグの件数、重要度、機能、人、アプリのクラッシュ率、修正までの時間

**【C】山本(健)・川﨑**

・宵越しのバグは忘れる

**【D】浅黄・山口**

# 3問目

給料が安くて辛いです。

**QAの適正な給与はいくらくらいとお考えでしょうか？**

また、給料をあげるためにはどうすればいいでしょうか。

## ＜ Q3：QAの適正な給与は？給与あげるには？ ＞

**【A】柿崎・鶴岡** 🔵🔴

・事業の成功に応じて
・事業に貢献するのみ！
・QAが関わる範囲を広げ価値をあげる
・自分が社長になる

**【B】山本(久)・米山**

・上長に求めているor足りないスキルを聞く
・満たしているのに上がらないなら転職

**【C】山本(健)・川﨑** 🔵🔵🔵

・プロジェクトの困りごとを少しずつでも解決していく
・役に立てることをする

**【D】浅黄・山口** 🔵

・勉強して会社にアピール

# 4問目

**QAメンバーの評価をどのようにやっていますか。**

また、チーム/個人の目標設定どうしてますか。

## ＜ Q4：QAメンバーの評価・目標設定 ＞

**【A】柿崎・鶴岡**

・会社＞部＞課＞個人へブレイクダウン

・火事が起きていない状態を作っているのは評価したい

**【B】山本(久)・米山 🔵**

・業務とスキル

・QA向けにスキルセットと評価のフレームワークを作成中

**【C】山本(健)・川﨑 🔵🔵**

・コミットメントの達成度

（どう評価するか事前に話し合う）

**【D】浅黄・山口 🔵**

・1on1を実施して目標設定

・技術と経験

# 第二部

# 5問目

プログラミングもできるQAエンジニアの中途採用とても苦戦しています。

市場価値の高いQAエンジニアはどういった点に魅力を感じ職場を変えるのか、昨今の転職ニーズについて思うことを教えてください。ちなみにtoCのwebサービスを開発運営する会社です。

## ＜ Q5：昨今の転職ニーズについて思うこと ＞

**【A】柿崎・鶴岡**

・僕も苦労してます
・ロールモデルがいたほうが良さそう
・ニーズあるよ

**【B】山本(久)・米山 🔴**

・開発者をコンバート

**【C】山本(健)・川﨑 🔵**

・エンジニアを口説け
（QA勉強会に来ているエンジニアとお友達になる）

**【D】浅黄・山口 🔵🔵**

・QAの権限
・問題解決をしていく姿勢が必要

# 6問目

品質保証チームの仕事の範囲は、どこまでやのがいいと考えているか、そして実際どこまでやって品質保証チームの仕事の範囲は、どこまでやるのがいいと考えているか、そして実際どこまでやっているか。い

## ＜ Q6：品質保証チームの適切な仕事範囲は？ ＞

**【A】柿崎・鶴岡 🔵🔵**

・技術の空白を埋める
（自分で枠組みを決める必要はない！）
・（鶴岡さん）ビジネスサイドに寄っている

**【B】山本(久)・米山 🔵**

・QAのスコープはサービス全体
・穴をうめる

**【C】山本(健)・川﨑 🔵**

・どこまでも。
・現状は要件まとめや仕様まとめ

**【D】浅黄・山口**

・部署→全て
・チーム→全て

# 7問目

テスト管理ツールの導入をいくつか試してみた所、結局のところエクセルが一番使いやすいという結論になってしまいました。テスト管理ツールをうまく導入出来ている場合、どんなツールか、どんな使い方をしているか教えてください

# ＜ Q7：テスト管理ツールやその使い方 ＞

**【A】柿崎・鶴岡**

**【B】山本(久)・米山**

・Webの自動化できてるならTestLinkで管理

・マニュアルテストはエクセルやgoogle docsが最強

**【C】山本(健)・川﨑** 🔵🔵🔴

・エクセルでいいのでは？

・マージしたソースの解析は使った方が良い

**【D】浅黄・山口** 🔵

・テストケース→エクセル

・テストの進捗やバグなど、管理する対象によって使いやすいツールは異なる

# 8問目

探索的テストの管理、終了基準について。

テストケースベースのテストはテスト開始時にテストケースの件数が決まっているため、予定がたてやすく、テストケースの完了=終了と判断出来ると思いますが、探索的テストの場合、テスト開始時にボリュームが見えず予測がたてずらい。

**何を持って終了と判断していますか？**

## ＜ Q8：探索的テストの管理・終了基準について ＞

**【A】柿崎・鶴岡**

・プロダクトの要件を満たせているか

・手法に寄らず、テストでどんな貢献ができるか考えるべき

**【B】山本(久)・米山 🔵**

・そのテストは探索的テスト？

・どこをどういう観点でテストするか

**【C】山本(健)・川﨑 🔵🔵**

・何をしたいのか決めておく

**【D】浅黄・山口**

・観点を決めて実施する

・時間を決める

・機能テストをやっているなら、観点を変えたり掘り下げたりする

# クロージング